

防災で地域をつなぐ情報誌

# Bosai Journal

## 防災ジャーナル

2023年 夏

第2号



- ❖ 今こそ知っておきたい耐震診断・耐震補強工事
- ❖ 避難所での過ごし方「虎の巻」
- ❖ 防災の専門家からあなたへ - 災害に備えた習慣づくり -
- ❖ 防災 × アレルギー対策レポート
- ❖ <地域の防犯>今こそ徹底したい強盗対策と鍵かけ



アンシンク株式会社



まず工務店や建築会社（以下、工務店）が「建築物の耐震改修の促進に関する法律」をしっかりと理解する必要があります。また併せて建築基準法の旧耐震基準と新耐震基準の違いを説明するなど、住宅の耐震化の重要性を徹底させる必要があります。この際に難しい用語や専門語を並べる必要はなく、いかに耐震が我々の身を守るものかを説明します。さらに国や地域の地方公共団体で行っている耐震診断・耐震工事に対する支援制度があるかしっかりと調べ、お客

**⑤管理体制の整備**  
耐震診断や改修に関する情報を、国や自治体が集約して管理する体制が整備されます。

様に伝えることが必要です、「起こってはいいけれどこれから起こるかもしれないこと」に対しての説明をすることは難しいかもしれませんが、地道に説明し続けることが大切です。

さらに工務店自体もしっかり耐震診断や耐震工事の最新技術を身につけ、日々研鑽することがお客様に伝える力を向上することにつながります。また社内の一人一人が耐震に精通することは必要ですが、お客様により理解していただくには、より専門性が高く、説明能力の高い人材を育成することも必要となります。

**地域にお住まいの方のすべきこと**

いくら政府や地方自治体、工務店が耐震の必要性を説明しても、建物の所有者である地域住民の方々が耐震について関心が薄かったり、その必要性に理解が乏しい場合、耐震対策は何も進みません。我が国は地震大国であること、その地震はいつでも起こるかわからないため他人事としないことなどを改めて知る必要があります。一般的に家具転倒防止を施したり、災害備蓄品を用意される家庭も増えてきましたが、まだまだで

今こそ知っておきたい

# 耐震診断・耐震補強工事

耐震診断・リフォームを行うことで、地震などの自然災害に対する安全性が向上します。ご自身やご家族の安心・安全な生活を守るためにも、ぜひ実施を検討してみませんか？

**阪神・淡路大震災を教訓にして**

まず私たちに大きな衝撃を与えたのは「阪神・淡路大震災」です。その時に奪われた命の大半が住宅の倒壊などによる圧迫死や窒息死でした。被害状況を見てみると昭和56年以前の旧耐震基準で建てられた住宅に顕著な被害を見ることが出来ます。そのため政府は平成7年に「建築物の耐震改修の促進に関する法律」を制定し、建築物の地震に対する安全性の確保に努めています。

この法律により、多くの人が集まる、学校や病院、百貨店など、一定の建築物（特定既存耐震不適格建築物）のうち、現行の耐震規定に適合しないものの所有者は、耐震診断を行い、必要に応じて耐震改修を行うよう努めることが義務付けられました。

但し、一般的な木造住宅は、この耐震改修促進法における特定建築物には該当しません。このように特定建築物に関しては法律上、耐震が義務的に進められています。一般的な木造住宅に関してはさらなる耐震化を図る必要があります。ちなみに国土強靱化推進本部では、住宅について、令和12年までに耐震性が不十分なものを

おむね解消すべく、耐震化を促進すると言われています。

**建築物の耐震改修の促進に関する法律の内容**

ここで、建築物の耐震改修の促進に関する法律の内容についてみていきましょう。

- ①耐震改修の義務化  
建築物の所有者に対して、一定の条件を満たした建築物については、耐震改修を実施する義務が課されます。
- ②耐震診断の義務化  
建築物の所有者は、一定の条件を満たした建築物については、定期的な耐震診断を実施する義務が課されます。
- ③改修費用の補助金制度  
耐震改修を実施する建築物の所有者に対して、改修費用の一部が補助されます。
- ④診断・改修業務の技術基準の設定  
耐震診断や改修業務を行う業者に対して、技術基準を設け、その適正な実施を促すことで、品質の確保を図ります。

**耐震診断を受けるタイミング**

耐震診断を受けるタイミングは、建物の種類や建築年数、地震の頻度や規模、周辺地形など、様々な要因によって異なります。一般的には、建物が30年以上経過した頃や、大規模な地震が起こった後など、定期的に耐震診断を受けることが推奨されます。また、建物を売却する際においても、建物の状態を客観的に把握できるために価格交渉の材料となったり、建物の欠陥や修繕が必要な箇所を把握できるために売買後に予期せぬ修繕費用が発生するリスクを軽減できたりと、耐震診断は多くのメリットがあると言えるでしょう。



あるといえるでしょう。住宅の倒壊による圧迫死などのほか、それに伴う火災など建物の倒壊によって被害は広がっていきます。そのあたりも考え、いかにして自分たちの身を守るかをしっかりと考える時が来ています。

**戸建住宅の耐震化の手順**

- ①耐震診断を受ける  
まずは、工務店や建築会社といった専門家による耐震診断を受けることが重要です。耐震診断によって、建物の現状を正確に把握することが出来ます。
- ②補強プランの作成  
耐震診断の結果をもとに、補強プランを作成します。補強プランでは、補強箇所や補強方法、費用などが計画されます。

- ③補強工事の実施  
補強プランに基づいて、補強工事を実施します。補強工事は工務店や建築会社によって行われます。
- ④補強効果の確認  
補強工事が終了した後は、再度耐震診断を行い、補強効果を確認します。補強効果が確認できれば、改修が完了します。

**耐震工事を任せる会社の選び方のポイント**

- ①経験豊富な会社かどうか  
耐震工事は、建物の安全性に関わる大切な工事です。ぜひ経験豊富な会社に依頼しましょう。
- ②実績  
過去に行った工事の内容や、施工した建物の耐震性能を確認することで、その会社の信頼性や技術力を判断することが出来ます。
- ③許可や保険  
耐震工事は法律や規制によって厳しく管理されています。施工業者には適切な許可や保険が必要です。
- ④材料や工法  
施工業者が使用する材料や工法が、

建物の構造や地盤に適しているかどうかを確認することが重要です。

- ⑤アフターサポート体制  
耐震工事後、万一問題が発生した場合に備えて、アフターサポートが必要で

- ⑥契約内容  
契約内容には、工事内容、料金、工期、保証内容などが含まれます。契約前に、細かな条件や注意事項を確認し、トラブルを避けるためにも、契約書はしっかりと読み込みましょう。

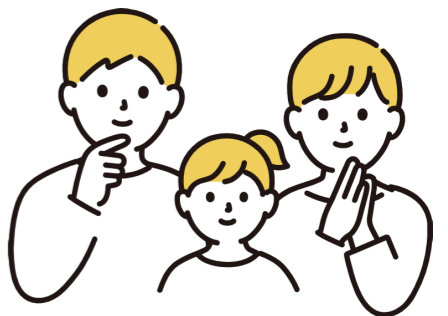
- ⑦報告書の提供があるかどうか  
耐震工事の完了後、施工内容や耐震性能について報告書が提供されることがあります。報告書が提供される会社であれば、万一の際にも対応しやすく、信頼性が高いと言えます。

耐震工事は、地震以外の自然災害にも対応できる工事です。強風や豪雨などによる建物の被害を最小限に抑えることが出来ます。建物の老朽化による倒壊を防ぐためにも、定期的な点検とメンテナンスが必要です。



どうやっていつ時のために知っておきたい

# 避難所での過ごし方「虎の巻」



## ? 避難所の場所はどしゃつたら分かるの?

まず何よりも大切なことは、自分が住んでいる地域の避難所の位置を事前に把握しておくことです。

市区町村のウェブサイトや  
防災アプリを確認する

地域によっては、市区町村が防災に関する情報を公開していることがあります。防災アプリをダウンロードすることで、災害時に役立つ情報を手軽に入手することができます。

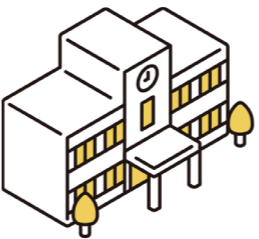


防災マップを確認する

地域によっては、防災マップが作成されていることがあります。防災マップを確認することで、避難所の位置や避難経路を知ることができます。

公共施設や学校などを  
確認しておく

災害時には、公共施設や学校が避難所として開放されることがあります。自宅や職場の近くにある公共施設や学校を確認しておく、避難の際に迷わずに済みます。



地域の防災情報拠点に行く



地域の防災ショップはもちろん、例えば工務店や不動産会社、保険の窓口など地域に根ざした店舗の中には、防災情報を提供している所もあります。そのようなお店があったら、ぜひ訪問して避難所の位置を確認してみましょう。

## ? 避難所にはいつ行けば良いの?

避難所に行くのは、災害の種類や状況によって異なりますが、次が一般的な指標となります。

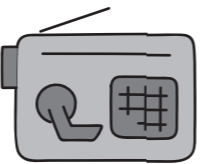
緊急地震速報や津波警報が  
発表された時

緊急地震速報や津波警報が発表された場合は、すぐに避難所に向かうことが必要です。特に、津波警報が発表された場合は、海岸や沿岸部に近い場合は、できるだけ早く避難所に移動するようにしましょう。



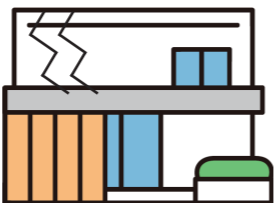
避難勧告や避難指示が出た時

自治体などから出される避難勧告や避難指示に従い、適切なタイミングで避難所に移動する必要があります。特に、洪水や土砂災害などの場合には、避難指示が出る前に自主的に避難することが求められることがあります。



家屋が危険な状態になった時

地震や台風などの災害が発生した場合、家屋が倒壊や崩壊の危険がある場合には、避難所に移動する必要があります。建物の被害状況を確認し、危険がある場合は速やかに避難所に移動するようにしましょう。



周囲の状況が危険で自宅に  
いることが難しい時

火災やガス漏れ、倒壊した建物など、自宅の周囲の状況が危険で安全に過ごせない場合は、避難所に向かうべきでしょう。



## ? 避難所ではどう過ごしたら良いの?

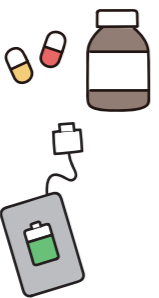
避難所での過ごし方は、地域や状況によって異なりますが、次が一般的な過ごし方のポイントとなります。

安全確保を徹底する

避難所では、常に安全確保に気を配ることが必要です。地震や災害が起る可能性があるため、避難所の建物や周囲の状況に注意し、非常口や避難経路の確認をすることが必要です。また、トイレや洗面所の使用についても、衛生面を考慮し、ルールを守り、清潔に保つことが必要です。



物品管理に気を配る



避難所では、多くの人々が共有するスペースで生活するため、物品の管理が重要です。自分の荷物を整理整頓して、他の人の生活スペースに迷惑をかけないようにすることが大切です。また、共有スペースの清掃や備品の共有についても、ルールを守り、協力することが必要です。

コミュニケーションを  
取る

避難所での生活において、コミュニケーションが大切です。他の人々とのトラブルを避けるために、相手の気持ちに寄り添い、互いに尊重し合うことが必要です。また、救済物資や情報の共有など、協力し合うことも重要です。



情報収集を行う



避難所には情報が集まりやすく、地震や災害の最新情報や救済物資の情報などを収集することができます。ラジオやテレビ、インターネットなど、様々な媒体を利用して情報収集を行いましょう。

# 防災の専門家からあなたへ

## 第2回

### 災害に備えた習慣形成のススメ



#### 災害時をイメージする

「防災」や「被災・災害」と聞くと、皆さんはどのようなイメージをお持ちですか？もちろん、皆さんそれぞれに、災害に備える準備も、必要な「もの」「こと」「量」「質」も全て異なってきます。先ほど「皆さん」と私は問いかけましたが、「あなた」、もしくはあなたの大切な方が、60歳以上の方だとして、被災したイメージを持ってみましょう。

あなたの、健康面・体力は、20歳代30歳代の方と比べて如何でしょうか？お住まいが、持ち家だとしたら、新築で入手しても多くの方はローンなどを人生設計に考慮して、若いころに建てているかもしれませんね。60歳を超えたあなたのその住まいは築何年になっているのでしょうか？住まう街並みも変わってきているかもしれませんね。

#### 災害では多くの高齢者が犠牲に

日本の全人口の約28%を65歳以上の方が占めています。まさしく高齢社会です。近い将来、国民の3人に1人は高齢者という時代がやってきます。一方、災害でどれほど高齢者が命を落としているか、その実態を目にしたことはありませんか？

#### 防災準備を整える必要性

阪神・淡路大震災における死者及び行方不明者のおよそ6割が60歳以上の人たちです。東日本大震災においては、2/3が60歳以上、東日本豪雨では、およそ7割が60歳以上だったのです。

全国で起きた震災や風水害の人的被害を見てみると、多少の誤差はあるものの、いずれも高齢者を中心とした「要配慮者」に集中しています。先にも上げました東日本大震災の60歳以上の死亡率は約65%。これは、被災前の60歳以上の人口密度の2倍以上に当たります。このようにいざという時、誰よりも死の危険にさらされるのはシニア世代。さらにシニアの中でも年齢が上がれば上がるほど犠牲者は増えていきます。この事実を受け止めて、しっかりとした防災準備を整える必要があると考えられます。

#### まずは心構え

まず最初に取り掛かるのは心構え。「自助」「共助・近助」「公助」の言葉聞いたことはありませんか？「自助」は自分自身を助けること。「共助(近助)」は地域での助け合い。そして「公助」

#### 重要だけれど緊急でないことに取り組み

さらにシニア世代は、移動に杖や車いすを必要とするケースも多く見受けられます。避難場所までのルートは自力で移動できるのか、誰かの手を借りる必要があるか、ルート途中に階段や勾配の険しいことはないか、河川の氾濫やがけ崩れの可能性はどうか？など、事前に本人の体力や状況に合わせた「事前準備」が必要になります。これが第2象限です。

#### 災害時の行動を日常の当たり前として定着させる

また、万が一に備えて、体力をつけるための運動「習慣」を身につける。万が一の連絡方法にSNSを想定しているのであれば、家族と日常からSNS等で連絡を取り合う「習慣」を。そして家族の日々の変わるスケジュールをお互いが知っている。良好なコミュニケーションをとる「習慣」をつけることです。「習慣」は第2の天性と言われるほど、身につけば強力な防災力となります。日々の生活の中に「災害に備えた習慣形成」を意識付ける行動することをお勧めいたします。

防災士：塩田 忠則 Tadanori Shiota

株式会社愛幸 代表取締役  
防災士、一般社団法人環境アレルギーアドバイザー支援ネットワーク 総支部長



「防災」の視点からこれを見ると、「発災」時はまさに第一象限です。例えば大きな地震で家が揺れた！倒壊するかもしれない！家に誰が残っているか？火の元はどうだったか？貴重品は？毎日必要な薬は持つて出たか？等々、その時点で瞬時に判断・決定・実行しなければならぬものは、とても多くあります。そのために、平時、日々の生活のなかで住居の耐震性の度合い、築年数や立地条件、また構造耐力などの耐震度を行って置く。家族の日常のスケジュールを知っておく事や非常時の連絡方法を決めて体験や練習しておく。家に入れない時の避難場所を確認しておくなども必要でしょう。

#### 日常から非日常を練習する

重要だけれども緊急ではないことを「第2象限」、緊急だけれども重要ではない「第3象限」、そのどちらでもない「第4象限」とします。日常、人は緊急性にながされ、緊急で重要な第1象限が終わると緊急だけれども重要でない第3象限へ、さらに重要でも緊急でもない第4象限へと行動を選択してまいります。

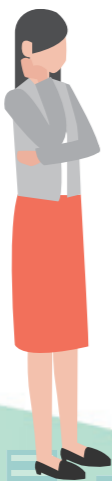
#### 事前準備と習慣形成

では、具体的にどのように「自助」から取り組んでいけばよいのでしょうか？災害発生時【発災】において、命を守ることも大切な要因は、「事前準備」と「習慣形成」です。

プライオリティマネジメントという考え方があります。縦軸を緊急度、横軸を重要度として4つのグリッドに分けます。緊急で重要なことを「第1象限」

は消防や自衛隊など、行政による救助を示す言葉です。毎日の生活の中で、私たちは当たり前のように「公助」に守られて生きています。しかし、いざ大災害に見舞われたら公助の軸は一気に崩れます。災害直後に特に必要なのは、自分たちで支え合う自助と公助の力です。災害時の心構え、それぞれの行動イメージは、まずは自助・自分の身を守り家族の安否を確認する。次に近助・隣近所の困っている人に手を差し伸べる。さらに共助・自治会や地域の安否確認や支援を行う。最後に公助・災害情報の伝達や消防、自衛隊の援助です。「誰かが助けてくれる」という考えは捨てること。自分で守る、そして周囲を助ける。というインサイドアウトの心構えがとても大切なのです。

「この街で生活している私の重要だけれど緊急でないこと」ってなんだろう？







# 水害被害とカビ対処

**①海や川の近く**  
大雨などの際に河川の増水や海の高潮などの影響を受けやすい立地。しかし海や川に近い立地すべてこの訳ではありません。

## 水害リスクが高い場所

**日本の台風・大雨被害**  
日本の南東の海上は、台風の原因型と言える熱帯または亜熱帯低気圧が発生・発達しやすい場所。発生した台風は、上空の風の流れに乗って、日本に上陸します。気象庁によると令和4年だけでも「災害をもたらした気象事例」として3つも挙げられています。台風・大雨の被害は人的被害と建物被害に大きく分類され、建物被害の中で「床上浸水」「床下浸水」があるのも特徴の一つです。

## 日本の台風・大雨被害

**②埋め立て地**  
埋め立て地は地盤が緩く、水害のリスクが高い傾向にあります。特に、田んぼを埋め立てた土地は、周囲より低い場所に作られている傾向があるため要注意です。

## 水害リスクが高い場所

**③周辺よりも低い場所**  
周囲よりも土地が低いと、水が流れ込んでくることもあります。

## 水害とカビ

**水害後のカビ対処**  
米国環境保護庁から「浸水被害後の清掃と室内空気質に関する情報源」という情報が公開されています。これによると水害で住宅に侵入した水は居住者の健康に影響を与え、住宅にカビが生えやすくなるというものです。では、カビとはどのようなものなのでしょうか。カビという呼び名は学問的に定義された用語ではなく、菌類の形状や特性などが似通ったものに付けられた一般名称です。住宅の中で発生するほとんどのカビは湿気を好み、湿度60%を超えると発生しやすくなり、80%を超えると大繁殖するものが多くあります。また20〜35℃前後で繁殖しやすくなります。カビは、カビにより引き起こされるアレルギーや感染症のみならず、カビを抑制するために使われる防カビ剤などから揮発

## 水害後のカビ対処

する化学物質が健康に悪影響を与えることも問題になります。カビが繁殖する条件は、次になります。

- ①酸素
- ②温度
- ③栄養源
- ④水分（湿度）

対策としては、①②③をコントロールすることは困難であるため、④をコントロールしていきます。

## 水害後のカビ対処

**①扇風機（ファン）を用いて乾燥**  
一般的な方法ですが、これは乾燥後に水害時の泥などの汚れを周りに飛ばしてしまう可能性があります。したがって周りに十分に配慮しつつ、自分自身も吸い込まないよう注意しながら作業をすることが大切です。また乾燥後には乾燥した残りの泥などを拭き取り、カビの胞子の温床となるものは残さないようにしましょう。加えて扇風機（ファン）を使う時の漏電にも十分注意する必要があります。

## 太陽光による乾燥法

太陽の光には紫外線が含まれており、紫外線はカビの除去に有効的であり、この方法は乾燥を行いつつカビの発生予防にも繋がります。見た目で乾燥していても実際には乾燥しきれていないこともありますので注意が必要です。特に床下の乾燥には時間がかかり、乾燥できないところなどには薬剤の使用も考えられますが、換気と複数の薬剤を混ぜないようしましょう。

## カビによる健康影響としてアレルギー・感染症・気管支系への影響などが挙げられます。薬剤も使用法によっては健康に影響を及ぼす可能性があります。日頃からカビの特性を理解しておきましょう。

<著者> (一社) 日本環境保健機構 栗原位之



# 避難所と室内空気質

## 室内空気質の重要性

昨今の新型コロナウイルス感染症の猛威により、室内空気質について再注目されています。自宅のみならず、電車の中や職場でも窓を開け、換気を心がけている人が多いのではないのでしょうか。我々人間は1日に15kgもの空気を吸っていると言われていて、この空気には、新型コロナウイルス等のウィルス・細菌をはじめ、揮発性有機化合物・粉じん・カビ・ダニ・花粉といった汚染物質が含まれています。これら汚染物質を低減し、室内空気質を向上させることが健康な暮らしを過ごす上で非常に大切です。

## 避難所の運営

地震などの災害時、被災地域には避難所が開設されます。避難所には犬・猫などペットを連れて来た人、喘息や風邪など病気を持った人や外国人・障がい者も来られます。この人々を配慮し、避難所運営をしていくことが重要です。従来の避難所運営は市町村の職員が中心に行われていましたが、1995年の阪神淡路大震災以降、地域の方々が被災者を中心とした避難所運営を進めることが多くなってきました。熱・光・音・衛生・空

## 避難所の室内空気質

その環境対策も考慮しながら運営していくことを目指していきます。避難所運営に興味があるようでしたら、静岡県が開発した「HUG（避難所）運営ゲーム」や（一社）日本環境保健機構が提供する「借り上げ福祉避難所（宿泊施設避難所）推進プログラム」を体験されると良いです。

## 避難所における換気

被災者が集まる避難所の室内空気質を改善するため、平時と同様に換気が大切です。そもそも換気

とは室外の空気を室内に取り入れ、汚れた室内の空気を室外に出すことです。それによって室内にある汚染物質を室外に排出します。そして換気には送風機（ファン）を用いて行う「機械換気」と、窓を開けて換気する「自然換気」があります。日本建築学会が発行する「避難所での換気の5つのポイント」では、5つのパターンに分けて説明しています。

## ①機械換気なし、窓や扉を2か所以上開けられる場合

上下にある窓や2つ以上の窓や扉を常時開放して積極的に換気を行います。悪天候時や夜間においても最小限でも良いので換気を行うことが大切です。また避難所の端（角）や壁際では空気の流れが滞りが発生しやすいので、扇風機を活用して、空気の流れを上手に作ってあげましょう。

## ②機械換気なし、窓や扉を1か所のみ開けられる場合

窓が1つしかない場合や悪天候などで窓が開けられず扉が1つある場合は、扇風機などを使用して積極的に室内の汚れた空気を室外に出す効率的な換気を心掛けましょう。また夏季は熱中症になりやすいので扇風機などを活用しましょう。

## ③機械換気あり、窓や扉の開放と併用する場合の換気

避難所に換気設備が設置されている場合には積極的に常時稼働させ、窓や扉も開けましょう。日本では原則としてすべての建築物に機械換気設備の設置が義務付けられているため、このパターンが一番多いかと思えます。

## ④空気の汚れや温湿度の実態を測定する

CO<sub>2</sub>濃度や温湿度、風の出入りを測定して実態を把握して換気や空調を調整しましょう。

## ⑤濃厚接触者・自宅療養者専用スペースの換気

避難所に来る被災者の中には新型コロナウイルス感染症などの濃厚接触者や自宅療養者も来る場合があります。この場合、排気が避難スペースへ流入しないように配慮しましょう。濃厚接触者・自宅療養者専用スペースから排出された空気が一般の方の避難スペースへの外気取り入れ口に近くないか確認してください。

良質な空気を吸うことは、良質な食事をするのと同様です。災害時においても健康を維持するために、空気の質について勉強してみたい方が多いでしょう。



見て触れて体験できる！地域密着型避難所システム

**避難体験型防災ステーションのご案内**

災害時の仮設住宅・避難所等では以下の問題が発生します。

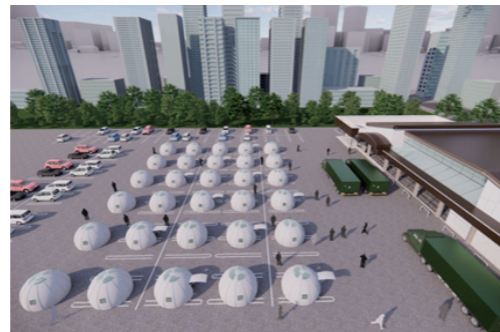
避難所不足

仮設住宅不足

クラスター  
リスク集団生活  
ストレスプライバシー  
安全性の課題上記のような課題を踏まえ、アンシンクではドームハウスを含む  
災害時用「簡易避難所パッケージプラン」をご提案しています。

## パッケージ内容

- ◆ 小人数で簡単に組み立て、分解可能な完全 DIY 型組立てドームハウス (HDPE製)
- ◆ 非常食、非常用飲料水
- ◆ 毛布
- ◆ 簡易トイレ
- ◆ 携帯型蓄電池及び太陽光パネルセット



企業の遊休地対策や福利厚生として、防災備蓄用品・蓄電池等のエネルギー対策用品と合わせたパッケージモデルを推進していくことで、民間企業が各地域にて防災対策にて地域貢献し、国土強靱化計画に寄与していけるようサポートしていきます。企業のスタッフ様の平時における防災教育、地域の安全な避難所の確保、避難所不足の解消による地域貢献として、導入・活用をして頂きたいと考えております。

当パッケージに関するお問合せは裏表紙のアンシンク(株)連絡先までお願いいたします。

**<地域の防犯>今こそ徹底したい強盗対策と鍵かけ****防災対策とともに取り組みたい防犯対策**

強盗や侵入者から身を守るために、自宅のセキュリティを強化することは非常に重要です。この記事では、「個人ができる強盗対策と鍵かけのポイント」について解説します。自宅をより安全な場所にするための具体的な対策や、鍵のかけ方のコツを紹介します。

**((A)) すぐ実行したい強盗対策の五か条 ((A))****1. 照明の利用**

明るい環境は強盗や侵入者にとって不利な環境です。外灯や玄関周りの照明を設置し、夜間でも明るく照らすことで、犯罪のリスクを減らすことができます。また、タイマーを利用して不在時でも照明を点滅させることで、誰かが家にいるように見せかけることができます。

**2. 防犯カメラ・警報システムの設置**

防犯カメラは、不審者を抑止する効果があります。また、万が一の状況で犯人の特定に役立ちます。侵入者が家に入ろうとした際に、大音量の警報が鳴るシステムを設置することで、犯罪者を威嚇し、周囲にも注意を喚起できます。

**3. 窓のセキュリティ**

窓は侵入者が家に入る際のアクセスポイントです。窓に鍵をかけるだけでなく、シャッターや格子を設置することで、侵入をより困難にすることができます。

**4. 隣人との連携**

近所付き合いを大切に、互いに家の様子を見守りましょう。不在時には、隣人に郵便物の受け取りや見回りをお願いすることで、犯罪のリスクを軽減できます。

**5. ドア周辺の視界確保**

ドア周辺の視界が悪いと、侵入者が隠れやすくなります。ドアの外観を確認できるよう、視界を確保することが重要です。例えば、庭の植栽を整理したり、郵便受けや表札の位置を工夫することで、家の周囲を見渡しやすくなります。

**🔑 強盗対策の鍵かけのポイント 🔑****1. ダブルロックの活用**

一般的な鍵だけでなく、追加の錠前やドアチェーンを利用することで、二重のセキュリティを確保できます。ダブルロックは、侵入者が鍵をこじ開ける時間を長くし、犯罪を困難にする効果があります。

**2. 高品質な鍵の選択**

高品質なシリンダー錠やディンプルキーなどの鍵は、ピッキングなどの不正解錠を困難にする構造になっています。信頼性の高いメーカーから適切な鍵を選び、家のセキュリティを向上させましょう。

**3. スペアキーの管理**

スペアキーは緊急時に役立ちますが、管理が不十分だと強盗に悪用されるリスクがあります。スペアキーは信頼できる家族や友人に預けるようにしましょう。

**4. スマートロックの導入**

スマートロックは、スマートフォンや専用のリモコンで操作できる電子式の鍵です。従来の鍵に比べ、解錠方法が難しく、侵入者によるピッキングが困難です。



# 防災ステーション

## “防災 奥の細道”

2023年5月26日 ショールームオープン



自社倉庫や遊休地、空き家をご活用しませんか？

見学随時受付中

設計・見積無料



発電機・蓄電池 / 防災オフィスコンビニ1000 アイテム  
学び直しリスキング / 避難所用ドーム / 防災情報発信

「防災 奥の細道」に関するお問合せはこちらまで

地域防災モデル「防災 奥の細道」実行委員会事務局 ミヤビワークス(株)内  
〒503-0022 岐阜県大垣市中野町 2-4

E-mai:info@okuhoso.net / TEL:0584-47-6220



### アンシンク株式会社



緊急時には 24 時間対応 !!

0120-367-119



企業様の事業継続計画 (BCP) 策定支援は信頼と実績の当社にご依頼ください。

## 次の世代に続く安心を。

アンシンクは総合防災のプロフェッショナルとして、  
年間3,000件以上の実績経験を活かし、  
お客様に「安心」を「信頼と技術」でお届けしています。



<https://www.anthink.co.jp/>

◆本社所在地：〒500-8289 岐阜県岐阜市須賀 3-1-22

TEL:058-268-6801/FAX:058-268-6802

◆大垣店所在地：〒503-0022 岐阜県大垣市中野町 2-4

TEL:0584-73-2568/FAX:0584-73-2567

◆名古屋営業所：〒457-0861 愛知県名古屋市中南区明治 2-15-1

TEL:052-698-2301/FAX:052-698-2302

本誌記事に関するお問い合わせは以下までお願いいたします

防災ジャーナル編集部 〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-11-5 日本橋吉泉ビル 2F (一社) 日本環境保健機構内 TEL:050-6865-6838